

リサイクルセンターが本格稼働

輸出コンテナ積込設備も完成

テント5棟でリユース循環

トライシクル

サイクラースクルー
のトライシクル(本
社・東京・品川、福田
隆社長、☎03・64
10・8780)はこ
のため、千葉県富津市
の「ResACO リ
サイクルセンター」で、

テント5棟とコンテナ
の積み込み設備を完成
させた。立ち上げ時点
で予定していた機能が
全てそろい、同施設は
本格稼働を開始。昨年
12月には商品の海外輸
出も開始し、広域的な

リユース・リサイクル
による持続可能な資源
循環の実現に貢献す
る。

このセンターは、同
社が運営しているサー
ビスである、事業所で
不要になった物のリユ
ース・無料回収・廃棄
を一元管理できるプラ
ットフォーム「Res
ACO(リサコ)のリ
ユース拠点として機能
している。

センター構内のコン
テナの積み込み設備は
6車線を整備してお
り、同時に六つのコン
テナに積み込むことが
できる。段差構造にな
っているため、スライ
ド式にコンテナを接

続可能だ。コンテナに
積載したリユース品
は、富津港にある自社
バスから東南アジア
諸国向けに輸出す
る。

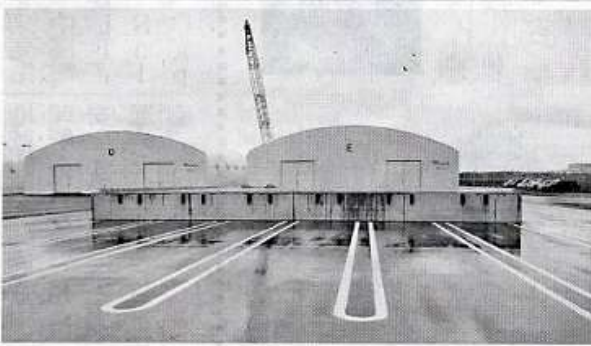
台風でも破損しない
頑丈なテントは、完成
していたA(設置面積
450平方メートル)に加
えて、B・C・D・Eの
設置が完了した。B以
降の設置面積は1棟当

たり990平方メートルで相
当数の商品を保管する
ことができる。

それに加えて今年か
ら、Aテントでは引き
取り手が無いロッカー
やデスク、椅子等の什
器に手を加えて、ハン
ドメイド感のあるデザ
インを付与するアップ
サイクルも行う予定
だ。専用の作業場を設
け、価値を創出したア

ップサイクル品を工業
的に製造する。まだ使
えるのに廃棄物になっ
てしまう物を可能な限
り無くす手として、市
販の新品を購入するよ
りも安くエンカルな消
費ができるようにす
る。市場調査をしなが
らモノの循環に尽力し
ていく計画だ。

福田社長は、「アッ
プサイクル品は、その
時のトレンドになって
いるデザイン等を見な
がら商品を作ってい
く。デザイン等に意匠
を凝らしすぎず、現実
的な循環ビジネスとし
て取り組めることを始
める予定だ。仕事の在
り方が変わっていく国
内での什器需要の変化
も見ながら価値を創出
していく」と述べた。



五つのテントでリユース品保管

また使える不用品は多い

最大6カ所同時積込が可能